

令和 8 年第 6 回
杉戸町議会定例会
(9 月)

一般質問通告書

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 7 月 3 1 日

議 会 議 長 様

議席番号 9 番

議員氏名 野 口 俊 彦

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 窪田町長 2 期目の具体的な公約と推進体制は	窪田町長は、1 期 4 年において真正面から取り組んでこられた「医療体制の充実」をはじめ、杉戸農業高校との包括連携協定やアグリパークゆめすぎとのリニューアルといった「農業振興」、さらには学校給食費の負担軽減などの「教育・子育て支援」に至るまで、一步ずつ着実に町政を舵取りしてこられた成果が、多くの町民の皆様の理解と信頼に繋がったものと推察しています。 そこで、窪田町長 2 期目のスタートである記念すべき令和 8 年 9 月定例会にあたり、追跡シリーズとして、以下の点について伺います。 (1) 窪田町長は 2 期目の公約として「この町を動かす責任がある」と誰もが心に響く力強いテーマを掲げ、4 つの政策として「1 安心感」「2 快適さ」「3 活力」「4 満足度」の各アップを示されました。では、まちづくりを町民と共に全力で推進するため、それぞれ具体的にどのような施策・事業を展開していくのか。詳細にお答えください。 また、肝心の 1 期目の公約である「下野久喜線の早期実現」及び「中核病院を誘致」については、2 期目ではどのように進めていくのか。選挙期間中の街頭演説では抽象的な説明であり、議員を含めて多くの町民の皆様が期待している大切な事業（約束）であるため、こちらも詳細にお答えください。	町長 副町長 教育長 担当課長

7 月 3 1 日 午前 8 時 3 0 分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
	(2) 1期目で「今すぐやるべき9つの課題」として掲げていた、「県内トップクラスの学力」及び「企業立地戦略室の創設」について、今回の2期目の公約の枠組みの中ではどのように整理され、今後どのように取り組まれていくのか、お答えください。 (3) 令和8年6月定例会における栗原前議員の一般質問の中で、「1期4年間の公約に関して何も進展がない中で、何をどのように動かすのか」との質問に対して、窪田町長は「2期目では意思決定の迅速化と町内連携の強化を徹底し、停滞を生まない体制づくりに取り組む」と答弁されました。 では、「停滞を生まない体制づくり」とは、具体的に役場組織の改革や配置の見直しなどを実行する予定なのか。見直しをする予定であるならば、現時点で答えられる範囲でお答えください。	

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 3 日

議 会 議 長 様

議席番号 14 番

議員氏名 平 川 忠 良

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. トイレ整備や トイレ対策の 推進は	トイレは、我々が健康で安心して生活するためにかかすことのできない生活基盤です。国際連合の持続可能な開発目標（SDGs）の目標6では「安全な水とトイレを世界中に」を掲げています。これは、トイレが単なる生活設備ではなく、人々の健康や衛生を守り、人権を支える重要なインフラであることを意味しています。そこで町民の利便性向上と誰もが安心して利用できる公共施設づくりの観点から、トイレ整備やトイレ対策について、伺います。 （1）担当課ごとにお伺いします。 ① 小中学校、公民館、カルスタすぎと、国体記念運動広場、すぎとピア、西近隣公園、倉松公園、役場のトイレの洋式化の現状（洋式化率）と洋式化の今後の計画は。 ② 温水洗浄便座の設置状況と今後の計画は。 ③ トイレの清掃を含む維持管理は。 （2）トイレ対策として、 ① 災害時のトイレ対策の現状は。 ② トイレトレーラー導入の提案をしてきました。春日部市では令和7年12月にトイレカーを導入しています。トイレトレーラーやトイレカーなど導入する考えは。 ③ トイレ対策としての災害協定は。 ④ 杉戸夏まつりや古利根川流灯まつり、杉戸町新春マラソン大会等のイベント時のトイレ対策は。	町長 副町長 教育長 教育総務課長 社会教育課長 都市施設整備課長 危機管理課長 管財契約課長 高齢介護課長 担当課長

8 月 3 日 午前 8 時 3 0 分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 東武動物公園 駅東口通り線 を含む周辺の 賑わい創出の 成果は	令和7年10月17日、杉戸町が「ココティすぎと」と一体で推進している官民連携によるまちづくりの取組である「一般財団法人都市みらい推進機構」主催で国土交通省後援の土地活用モデル大賞において、審査委員長賞を受賞しました。大変喜ばしいことです。 そこで、伺います。 (1) 東武動物公園駅東口エリアにおいて、「誰もが主役になれるまちづくり＝圧倒的ホームタウン」をテーマに公共空間の活用と官民連携による地域価値向上に挑戦している点が高く評価されたことが受賞の理由であるが、これまで、具体的にどのような取組を行ってきたことが、評価されたのか。 (2) 「ココティすぎと」が令和6年4月にオープンして2年半が経過し、土地活用モデル大賞審査委員長賞を受賞するなど、多くの住民の方から利用され、賑わい創出の中心となる複合施設に意義づけられていると感じている。 コミュニティーセンター、中央児童公園を含めた園庭広場、子育て支援センターたんぽぽ、ふるとねテラス、それぞれの成果は。 (3) アンケート等利用者の声や町民の声を拾っているのか。 (4) 要望や課題などを踏まえた取組の成果は。 (5) 今後の展望は。	町長 副町長 教育長 市街地整備推進室長 住民協働課長 子育て支援課長 担当課長
3. 新庁舎整備の 検討は	令和7年11月25日の全員協議会で、窪田町長は、新庁舎整備の今後の方向性について、昨今の世界情勢に伴う建築資材の高騰や労務費単価の値上がり等の中で、町の財政状況等を鑑み、新庁舎整備の検討について「今任期中は休止」とすると示しました。 窪田町政の2期目がスタートしましたが、窪田町長は、新庁舎整備の検討を進めていく考えはあるのか、伺います。	町長

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 7 月 3 1 日

議 会 議 長 様

議席番号 1 3 番

議員氏名 伊 藤 美佐子

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 流産・死産を経験された方等への心理社会的支援は	こども家庭庁では、主要分野ごとの重要課題と取組方針の中で、少子化対策及びこども・若者政策の推進に対する取組として、産後ケア事業、新生児マススクリーニング、新生児聴覚検査や乳幼児健診など、母子保健対策や不妊症、不育症の相談支援が行われています。 その中に、流産・死産経験者への相談支援を行うことも盛り込まれていますが、特に、産後グリーフケア事業の町の取組について以下伺います。 (1) 町における流産や死産経験者の現状は。 (2) 流産・死産を経験された方等への心理社会的支援について、町の体制は。 (3) 東大阪市においては、産後グリーフケア事業を令和6年から取り組まれるとともに、民間団体等でも取り組んでいます。町において、「流産・死産を経験された方等への支援体制」を整備する考えは。	町長 副町長 健康支援課長 担当課長
2. 実効性の高い社会保障教育を推進するため、「社会保障ゲーム」等の体験型教材の導入を	社会保障制度は、国民の「安心」や生活の「安定」を支えるセーフティネットであり、「社会保険」「社会福祉」「公的扶助」「保健医療・公衆衛生」の4本の柱から成り立っています。子どもから子育て世代、高齢者まで、生涯にわたり人々を支える基盤です。 しかし、複雑化する現代社会において、困難を抱えた際に「誰に相談してよいかわからない」「民生委員・児童委員や行政の支援窓口を知らない」ために、適切に対処することができず、孤立やトラブルの深刻化につながる事例が	町長 副町長 教育長 福祉課長 学校教育課長 担当課長

7 月 3 1 日 午前 1 0 時 2 3 分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
3. 介護福祉特化のスケッターの活用調査は	少なくありません。 先日、久喜市にある「埼玉県女子自立更生センター」を地域の民生委員の方々とともに視察し、施設利用を経て自立された女性から当時の切実な体験談をお聞きしました。 「当時は民生委員の存在も相談先も知らず苦労した」という言葉からもわかるように、「困ったときに支援につながる知識や手段」を若いうちから身につける教育の重要性を痛感しています。そこで以下伺います。 (1) 中学生を対象とした公民や総合的な学習の時間等において、社会保障制度や「困ったときの相談先（民生委員・児童委員や行政窓口）」についての周知・教育は現在どのように行われているのか。 (2) 「社会保障ゲーム」等を通して主体的に学び、「助けを求めるスキル」を身につける実践的な教育の導入について、教育委員会としての考えは。 (3) 学校教育の場に、地域の民生委員・児童委員や町の福祉部局が関わり、本ゲームや体験談を交えた出前講座・出前授業を行うなど、地域と学校が連携した「自分事として捉える福祉教育」を展開する考えは。 昨年１２月定例会の一般質問において、介護福祉施設にスケッターの活用を提案しましたが、「調査研究する」との答弁でした。 現在、第１０期介護保険事業計画を作成中ですが、介護サービス提供事業所調査結果を踏まえた、今後の町の方向性を伺います。	町長 副町長 高齢介護課長 担当課長

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 1 0 日

議 会 議 長 様

議席番号 1 0 番

議員氏名 宮 田 雄 一

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 人口減少時代 に対応した町 政運営は	人口減少は、今後も進行することが見込まれている。子育て支援や移住・定住促進など、人口減少を緩やかにする取組に加え、人口減少を前提として行政サービスや地域社会を持続させる視点も必要である。 また、企業誘致や産業振興、国・県の補助制度活用など、多様な財源の確保も重要となる。そこで、窪田町長の2期目の町政運営における人口減少時代への対応について、以下伺う。 (1) 人口減少に対する町長の基本的な認識は。 (2) 子育て支援や移住・定住促進など人口減少を緩和する施策に加え、人口減少を前提として行政サービスや町の構造を持続可能な形へ転換していく必要性をどのように認識しているか。 (3) 公共施設、インフラ、行政サービス、土地利用、公共交通等について、人口減少を前提とした見直しをどのように進める考えか。 (4) 企業誘致や産業振興、国・県の補助制度等の活用を含め、人口減少下における財源確保をどのように進める考えか。 (5) 1期目を「種をまき、土台をつくった4年間」と総括した町長は、2期目の4年間で何を具体的に変え、何を実現するのか。	町長 副町長 教育長 担当課長

8 月 1 0 日 午前 9 時 5 2 分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 旧東中学校跡地の利活用は	東中学校閉校後、借地部分については返還に向けた原状回復工事が進められ、おおむね完了することとなる一方、残る町有地や校舎、体育館等の利活用については、閉校前から早期の検討の必要性を指摘してきた。 貴重な町有財産を長期間遊休化させることなく、有効活用することから、以下伺う。 (1) 閉校後から現在まで、跡地利活用について具体的にどのような検討を行ってきたのか。 (2) 借地部分の返還及び原状回復工事と並行して、残る町有地及び施設の利活用方針を検討してこなかった理由は。 (3) 庁内における横断的な検討、地域住民の意向把握、民間事業者等へのサウンディングなどをどのように進めるのか。 (4) 跡地利活用の基本方針をいつまでに示すのか。また、町長自身は、旧東中学校跡地をまちづくりの中でどのように位置づけているのか。	町長 副町長 教育長 担当課長

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 1 2 日

議 会 議 長 様

議席番号 5 番

議員氏名 北 出 恵 造

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 水道料金的大幅値上げに反対	令和8年8月7日、令和8年度第4回杉戸町上水道事業経営審議会が開催された。水道料金改定案（素案）に対する意見の集約が行われ、「答申」が決定し、改定時期は令和9年4月1日とされた。平均改定率は34.77%であり、モデルケースとして、口径別、使用従量別料金も示されている。 口径20mmで、2か月の使用料40m³の場合、基本料金と従量料金の合計金額は5,200円から7,500円へと2,300円（44.2%）の値上げとなり、物価高騰の折り、大変な値上げである。 そこで以下伺う。 （1）パブリックコメントに示された現状予測では令和元年度から令和12年度まで総収入が減少している。これに対して総支出は約10億円前後で推移しており、差し引き当年度純利益が年々減少し令和6年度に赤字となる。その赤字額が、令和8年度以降は1億円超から1億3千万円超となっているが、この支出の主な中身は何か。 （2）改定案は現行の料金体系を全面的に見直すもので、一般家庭などにしわ寄せをしているものではないか。 （3）低所得者や生活困窮世帯に対する何らかの減免措置を講じる考えは。	町長 副町長 総合政策課長 上下水道課長 担当課長

8 月 1 2 日 午前 9 時 1 8 分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 窪田町長２期目、町政に対する抱負を問う	窪田町長の２期目がスタートした。 そこで、公約に掲げている政策について、以下伺う。 (１)「快適さアップ：ストレスフリーで気持ちよく動ける町へ」の項について、 ① 「下野久喜線等の都市計画道路の整備を更に進めます。」としているが、久喜市は全事業をゼロベースで見直す「久喜市財政緊急対策・再建宣言」を发出する中、その見通しは。 ② 「持続的な公共交通を検討・発展させ、全ての町民が安全で快適に移動できる環境を実現します」としているが、「誰もが安心してらせる杉戸町をつくる会」のアンケートへの町長の答えに対し、以下伺う。 ア) 「杉戸町の地域公共交通について現在の巡回バスの運行で十分だと考えていますか。」との問いに町長は「改善したい。」、また、改善策の具体的提案として、「運行事業者で運転手の手配ができれば、予算の範囲内で土日便の追加は検討したい。現状は運転手不足が深刻。」と、答えている。予算規模はどの程度を考えているのか。また、いつ頃を期限に判断するのか。 イ) デマンド交通についても「導入したい。」と答えている。いつ頃を期限に判断するのか。 ウ) タクシー補助の補助額増額、条件緩和について「改善したい。」と答えているが、具体的にどのように改善するのか。 (２)「満足度アップ：みんなが主役で未来に輝くまちへ」の項には「学校給食の無償化の完遂を目指し、子育て世代と子どもたちの未来を守ります。」とある。中学校給食の完全無償化のロードマップについて明らかに。	町長 副町長 教育長 都市施設整備課長 住民協働課長 高齢介護課長 教育総務課長 担当課長

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 1 2 日

議 会 議 長 様

議席番号 7 番

議員氏名 江 口 栄 子

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 国民健康保険税の負担軽減を	国民健康保険税の課税方法については、今年度より「子ども・子育て支援納付金分」が加わり、医療分、後期分、介護分と合わせて4本立てになった。子ども・子育て支援納付金分は、3年間毎年引き上げとなる。これにより県内63すべての自治体で保険税は引き上がった。 加入者の高齢化・貧困化が進行しているにもかかわらず、国庫負担が削減・抑制されてきた結果、「低所得者が多く加入する医療保険であるのに、国保税は他の医療保険より高い」という制度の矛盾が、さらに広がっている。 当町の令和7年度の国保加入世帯数は、全世帯数20,481世帯の約27%にあたる5,621世帯で、被保険者数は、8,082人（杉戸町の人口43,061人の約19%）である。 また、被保険者数の46%は、65歳～74歳の高齢者である。 さらに、一人世帯が約68%の3,822世帯、所得100万円以下が約57%の3,220世帯、所得100万円～300万円が約31%の1,767世帯である。 つまり、国保の加入者は、7割が一人世帯、5割が高齢者、6割が所得100万円以下である。また、国保税の滞納世帯は、738世帯（約13%）である。そこで、伺う。 （1）令和9年度の国保税は、どのようになるのか。 現行税率と比べて、1世帯当たりの保険税額はいくらかからいくらかになり、いくら増額になるのか。	町長 副町長 町民課長 担当課長

8 月 1 2 日 午前 1 0 時 5 1 分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 学校の授業でも使える室内町民プールを	(2) 高すぎる国保税に町独自の負担軽減措置を行うべきではないのか。 たとえば、来年度からは、国の制度として、18歳までの均等割が半減されることが決まっているのだから、これを機に子育て支援として、町が残りの半額を条例によって減免し、子どもの均等割を全額免除にしてはどうか。 地球温暖化で、猛暑や酷暑が続き、学校プールを使っの泳授業ができないようである。子どもたちが水泳の授業をできるように室内プールをつくるべきではないか。 町で室内プールをつくって、学校の授業でも使えるようにする。また、町民も泳げる室内プールにしてはどうか。そこで、伺う。 (1) 水泳の授業の意義は何か。また、学習指導要領ではどのようなになっているのか。 (2) 令和8年度(1学期)、当町の小学校の1クラスの水泳の平均授業時数と、中学校の1クラスの水泳の平均授業時数を明らかに。 (3) 当町の学校プールの1年間の維持費は。 (4) 町は、室内町民プールをつくる考えはないか。	町長 副町長 教育長 総合政策課長 学校教育課長 教育総務課長 社会教育課長 担当課長

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 7 日

議 会 議 長 様

議席番号 3 番

議員氏名 富 澤 義 之

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 西地区のまちづくりと今後の町政運営は	窪田町長が2期目を迎えられました。今後4年間の町政運営に期待するとともに、西小学校と高野台小学校の統合をはじめ、西地区では大きな変化を迎えようとしています。 私は6月定例会でも、西地区全体を見据えた将来ビジョンや、それを実現するための組織づくりについて提案しました。 そこで、今後のまちづくりについて、以下伺います。 (1) 避難所のエアコン整備について 町では避難所となる小中学校体育館へのエアコン整備を進めてきた。令和8年熊本地震で被災された方々は学校体育館をはじめとした避難所で生活をされているが、当町における避難所のエアコン設置状況は。 (2) 下野久喜線について 西地区の発展には、下野久喜線の整備は欠かせないものと考えている。 令和8年8月3日に貴志信智久喜市長が「久喜市財政緊急対策・再建宣言」を発出した。発出に関し、事前相談の有無や、話し合いはされたのか。このことは、今後下野久喜線整備事業にどのように関係してくるのか。 (3) 西仮グラウンドについて 西仮グラウンドの利活用の検討については、一時凍結という状況になっている。地域住民も今後を心配されているため、現在の状況と再開の方向性について、どのように考えているのか。	町長 副町長 危機管理課長 教育総務課長 社会教育課長 都市施設整備課長 担当課長

8 月 7 日 午前 11 時 44 分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 町長選挙の課題は	(4) 南側用水路整備について 令和6年度の南側水路整備手法検討業務の検討結果を含め、計画等に基づき整備を進める考えなのか。また、いつ頃からの実施を目指しているのか。 (5) 給食費無償化について 子育て支援策として給食費無償化への期待は非常に大きいものがある。 町長は選挙でも公約として掲げられていたが、いつ頃からの実施を目指しているのか。 今回の町長選挙の投票率は約38%となり、前回、前々回を下回る結果となりました。町政への関心という点でも、大きな課題であると考えています。 そこで伺います。 (1) 年代別、地域別の投票率は。 (2) 投票率低下の要因について 町長は今回の投票率低下をどのように分析されているのか。 (3) 真夏の選挙について 今回も真夏の厳しい暑さの中での選挙となった。 暑さが投票率に与える影響について、町長はどのように考えているのか。 (4) 町民意識について 今回の町長選挙では、各候補者とも杉戸町の将来を考えた魅力ある公約を掲げていた。しかし、その一方で投票率は約38%という結果であった。 この結果を見ると、「自分一人が投票しても変わらない」「今の生活に大きな不満はない」など、政治への無関心や町民との意識のギャップも感じられる。 町長は、このような町民意識についてどのように受け止めているのか。 また、町民が町政をより身近に感じ、まちづくりに参加したいと思える町にするため、2期目でどのような取組を進めていきたいと考えているのか。	町長 副町長 選挙管理委員会書記長 担当課長

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 1 0 日

議 会 議 長 様

議席番号 1 番

議員氏名 太 田 康 之

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 高齢者が活躍する農業の仕組みを ～ユニバーサル農園・ゆるやか農業で課題の同時解決～	昨今、高齢化が進み医療費・民生費が膨らみ続けている一方、農業では担い手の減少、労働力不足による農業崩壊の危機が喫緊の課題となっている。「退職後人材の活用」という課題と「農業の労働力不足」を掛け合わせることで、双方の課題を同時に和らげる合理的な仕組みが作れると考えている。 一般的に会社員が定年退職となる65歳は農家の平均年齢68歳より若く、年金を受け取れる年齢になったからこそ、「社会に貢献したい」「健康を維持したい」「地域で新たな仲間をつくりたい」など、お金を主な目的とせず新たな生きがいとして農業に参加することが可能とも言える。 近年、農福連携の取組は、障がい者の就労支援にとどまらず、高齢者の社会参画支援にも広がりつつあるとされ、また、地域ぐるみで週1回程度の農作業を通じて自然と触れ合い、仲間づくりを行う「ゆるやか農業」といった取組も各地で進められている。 これらを背景に、高齢者が無理のない範囲で農業に関わることには、多面的な効果が期待でき、他自治体では、高齢者が農業や直売所運営の担い手として活躍し、結果として一人当たり医療費が低い水準にとどまっている例もある。 本町においても、こうした取組を検討していただきたく、以下質問する。	町長 副町長 産業振興課長 農業委員会事務局長 高齢介護課長 担当課長

8 月 1 0 日 午前 1 0 時 0 5 分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
	(1) アグリパークゆめすぎと又は周辺を活用したユニバーサル農園構想について (※アグリパーク等に人を集める方式) ①世代や障がいの有無を問わず、高齢者が無理なく農業に親しみ、仲間づくりができる「ユニバーサル農園」の整備について町の見解は。 ②岐阜県各務原市では、高齢者の社会参加や健康づくりを目的とした農作業の憩いの場として「はたけサロン事業」を介護福祉事業所へ委託し事業を行っている。また、社会福祉法人やシルバー人材センターへ運営を委託する自治体もある。当町として、同様の取組を検討できないか伺う。 ③持続可能な「杉戸町版・ゆるやか農業」の仕組みづくりについて、「週1日・スポット的に」などから始められる環境づくりが重要と考える。例えば、アグリパークゆめすぎとのカントリー農園などを活用することは可能か伺う。 (2) 農家へ手伝いに行く「高齢者農業サポーター」構想について (※各農家に高齢者を派遣する方式) ①現在、農業委員会で行っている「農のサポーター制度」に近い制度だが、農家への派遣実績と今後の進捗、それに伴う課題は。 ②受入れ農家の登録状況は。 ③最低賃金(埼玉県最低賃金:時給1,141円)が発生すると、当然その数倍以上の利益を生む作業スピードが求められる。作業スピードが遅ければ逆に農家がマイナス分を負担し苦しむ事になる。高齢者とゆるやか農業並びに時給及び報酬についての見解は。 (3) 活用可能な補助制度について 農林水産省が推進する「農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策・農福連携型)」など、農福連携の取組を支援する交付金・補助制度について、本町での活用状況の検討状況を伺う。	

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 7 日

議 会 議 長 様

議席番号 4 番

議員氏名 久 松 祐 樹

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 町長の今任期における実行計画は	杉戸町が将来にわたり持続可能な発展と繁栄を遂げていくためには、当町全体の現状や課題という「全体像」を認識した上で、どのような将来像を描き、具体的にどのような施策を進めていくのかを明確にすることが極めて重要であると考えます。限られた財源や人的資源をどの分野へ重点的に投入・投資していくかという決断は、まさに今後の杉戸町の将来を大きく左右します。 町長は今任期における「責任」として何を実行し、当町をどのような未来へと牽引していかれるのか、具体的な実行計画の内容を政策ごとに伺います。	町長 副町長 教育長 総合政策課長 担当課長
2. A I 時代における教育の在り方は	近年、生成 A I は急速に普及しており、文章作成・情報検索・要約等が容易にできる時代になっています。一方で「A I の回答だから正しい」という思考停止が広まれば、人間自身が主体的に考え、判断し、責任を負う力が弱まる危険性もあります。重要なのは、「A I を使いこなしつつも、最終的には自ら考え、判断し、責任を負うことができる人間」を育てることだと考えます。 当町において、A I を活用しつつも、子どもたちに善悪判断や価値秩序を身につけさせるために、どのような教育実践や情報モラル指導が行われているか伺います。	町長 副町長 教育長 学校教育課長 担当課長

8 月 7 日 午前 8 時 3 0 分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
3. 町内全域の道路状況の把握は	町内の道路において、舗装の穴あきやひび割れ、側溝の破損等が散見されます。限られた財政状況の中で、それらすべてを修繕することは困難であると理解しています。しかしながら、地域住民からは「特定の地域だけ道路が綺麗になり、自分の地域は後回しにされているのではないか」等、不公平感を抱く声も届いています。 行政として地域住民の視点に立った「公平性の担保」は極めて重要であり、町内全域の道路状況をどのように把握されているのか伺います。	町長 副町長 都市施設整備課長 担当課長

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 4 日

議 会 議 長 様

議席番号 2 番

議員氏名 市 毛 大 助

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 杉戸町居住の外国人との地域交流は	近年、杉戸町に居住する外国人が増えている。少子高齢化が進み、近い将来の労働力不足を補うためにも、外国人は積極的に受け入れ、共存・共栄して強い地域社会を形成する必要があると考える。 ところが、慣習の違いから、地域住民とのトラブルが絶えず、また、法令違反も発生しているようである。 それに対処すべく、今後の町のために以下伺う。 (1) 当町在住の外国人の過去3年間の人口は。 (2) 外国人が住まわれている地域のごみ集積所及び分別等に問題はないのか。 (3) 以前一般質問を行った大字大塚420番地における無許可開発について、その後の展開は。 (4) 本年4月20日に発生した大字大塚地内の中川近くの火災について、その後の状況は。 (5) 大字宮前の江戸川台団地内に、イスラム教礼拝堂モスクが出現し、近隣住民とトラブルをを起こしていると聞き及んでいる。以下トラブルの対処状況を伺う。 ① 1日5回の礼拝に伴い、大音量の音楽を流し、近隣住民が騒音を通報した件のその後は。 ② 1日5回の礼拝の際に、夜間も車で来て、ライトで住宅を照らし、大声で話し煩わしくて眠れないと、住民が通報した件のその後は。 ③ 何台も車が路上駐車する、また、民家の脇に駐車するなどの迷惑行為を通報した件のその後は。	町長 副町長 町民課長 環境課長 建築課長 危機管理課長 住民協働課長 担当課長

8 月 4 日 午後 1 時 3 8 分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
	④ラマダンの時に食したらしいヤギと思われる大量の動物の骨が、近隣のごみ集積所にあったと聞き及んでいる。イスラム教では、神に動物を捧げる風習があると聞くが、と畜場以外での一連の行為（ヤギのと畜）は、法律上問題はないのか。また、それらを町に通報した件のその後は。 ⑤川越市の市街化調整区域に、無許可でモスクが建築され、同市が立ち入り調査後行政指導し、建物は閉鎖されているとのことだが、閉鎖の根拠は。 また、大字宮前のモスクは、初めは鉄工所で、徐々に姿を変え、モスクになったと聞き及んでいるが、法的問題の有無や、同市のように立ち入り調査後、行政指導はできないのか。 (6) イスラム教徒の土葬に、町は対応できるのか。 (7) イスラム教などの異文化に対して、町ではどう理解し、共存していくのか。 (8) 近い将来、これらの問題等に対応できる条例を制定する準備はあるのか。	

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 13 日

議 会 議 長 様

議席番号 12 番

議員氏名 大 橋 芳 久

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 高齢者等への タクシーの補助 を	高齢になり、車の運転をやめた方にとって、通院手段の確保は大きな問題である。巡回バスでは不十分であり、また、身内や近所の人がいっても、遠慮してしまい、その間に病気が進行してしまう危険性がある。 既に取り上げられてきたが、その中でも宮代町が行う宮代町高齢者等タクシー助成事業は、令和7年度（4月から1月まで）、10,565件の利用実績があり、一定の効果を上げていると考える。当町でも同様の制度を導入すべきではないのか、改めて伺う。	町長 副町長 高齢介護課長 福祉課長 健康支援課長 担当課長
2. 窓口業務の 時間短縮を	昨年6月定例会でもこの件について取り上げた。 その時は、当時の副町長の「少なくとも埼玉県の半分以上の自治体がもう時間短縮だというぐらいに浸透してくれば、それはそれでやっていくべきかなとも考えております。」という答弁で終えてしまったわけだが、今までに隣の宮代町、幸手市、そして白岡市でも10月より短縮が始めることが公表されている。それに、そもそも半分以上の状況を見てから決めるのは、「新しい杉戸」とは言えない。 さらにラスパイレス指数も低く、庁舎も古い我が町においては職員の待遇改善を図る努力を他の自治体以上に、より一層取り組んでいかなければならないことは明白である。 こうしたことから、窓口開庁時間の短縮は一日も早く取り掛かる必要があると感じるが、町の考えは。	町長 副町長 総務課長 担当課長

8月13日 午後 1時27分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
3. 町長公約の 具体性は	窪田町長は7月の町長選挙において見事に当選された。 町長は、達成できなかった1期目の多くの事業を2期目で達成すると訴えていた。 そこで以下のことを中心に伺う。 (1) 連続性が担保されなかった(1期目に掲げたが2期目に掲げられなかった)政策とその理由は。 (2) 6月定例会で、仮に町長が当選したとして、私が窪田町長の公約の実現について質問したが、あやふやな答えに終始された。2期目のゴールをどことらえているのか。 (3) 町長と私の共通認識であるが、事業をするのには「お金」が必要である。その財源確保策においてもふるさと納税の活用、補助金の獲得に努めるなどと答弁されてきたが、これらは既に取り組んでいることであり、それだけでは賄いきれるわけもなく、納得できる答弁がいまだにない。このことについて町長はどのように考えているのか。 (4) 1期目を振り返ってみての自己採点は。	町長